

# わかたけ

春日部市立武里小学校  
<https://schit.net/kasukabe/estakesato/>  
 児童数 497名  
 令和6年1月29日 発行

## たかが「挨拶」されど「挨拶」

校長 加納 敏幸

私は児童の登校に合わせ、正門に立ち「おはよう！」と声をかけ子供たちを迎えています。その時の子供たちの姿は、だいたい以下になります。①「おはようございます」と挨拶を返してくれる子。②声は出さないけれど、目を合わせてくれる子。お辞儀をしてくれる子。③目を合わすことなく何もせず通り過ぎていく子。

私は本校の子供たちには、「誰にでも元気よく挨拶ができる子」になってほしいと思います。しかし、目を合わせてお辞儀ができる子も十分立派だと思っています。一番の心配は、③の子。「照れくさい」「恥ずかしい」「何となく」等、理由はあるでしょう。しかし、声をかけられても何も返すことができない子でよいのでしょうか。保護者・地域の皆さまは、そんな子供の姿をどのように思われますか。

挨拶の語源は、仏教にルーツを持つ言葉で「一挨拶（いちあいいちさつ）」禅宗の問答に由来した言葉と言われています。「挨拶」は心を開いて近づく、「挨拶」も同様に、迫る、近づくという意味があります。挨拶は「心を開いて相手に近づく」という意味です。挨拶を紐解くと、お互いの心を押し合い、推し量る動作であることがわかります。つまり、挨拶とは、自分の心を開くことで、相手の心を開かせ、相手の心に近づいていく行為ということです。

私は、生成 AI や SNS、情報化社会の進化等、便利さと引き換えに、人と人が向き合い心を通わせる場面が年々希薄になっているように感じます。それは子供も同様です。きれいごとかもしれませんが、人同士が適切な関係を築くことは、相手を正しく意識し理解することです。そんな関係が言語や環境で分け隔てることなく、多くの人の中で築きあげられることで、対立や争いがなくなることにつながるのではないのでしょうか。

例えば、皆さまは、自分が挨拶をしたとき、もし相手が何も返さなかったら、「あれ？ どうして？」と思わないのでしょうか。その結果、心にモヤモヤが少しずつ膨らみ、相手との間に見えない壁をつくるような悪循環が生まれるかもしれません。反対に、互いに挨拶をすることで、心地よい気分でその日を過ごすことができることもあるはずです。

挨拶の最大のメリットは、相手を大事にすること。私は、「あなたがそこに居ることを知り、あなたの存在を認めています」「あなたに敵意はなく攻撃する意思はありません」「もっとあなたとコミュニケーションをとり、仲良くなりたいです」、何気ない挨拶には、相手に対してそんなメッセージが表現されています。

たかが「挨拶」されど「挨拶」。私は、挨拶は人として大切にしたい習慣であると捉えています。反面、挨拶は学校だけでは身に付きません。今後も学校では、家庭・地域の皆さまと一緒に、子供たちに挨拶の意味を伝えながらよりよい挨拶が定着できるように努めてまいります。

本校では、わかたけ委員会児童を中心に、三学期は「あいさつ運動」に取り組みます。ご家庭でも、お子様の挨拶の様子について、見届けとご支援をお願いします。

## 校内競書会

校内競書会を実施しました。1・2年生は、フェルトペンを使い行いました。3年生以上は毛筆で行いました。すてきな作品ができました。

校内競書会（3年生以上は市内書きぞめ展）の結果です。皆さん、おめでとうございます。推薦賞6年〇〇〇〇さんの作品は、埼玉県かきぞめ中央展覧会に出品されました。



学年	氏名	賞	学年	氏名	賞	学年	氏名	賞
1年	HP 上は氏名	金賞	1年		金賞	1年		金賞
1年	掲示場所等	金賞	1年		金賞	1年		金賞
2年	不掲載です。	金賞	2年		金賞	2年		金賞
2年		金賞	2年		金賞	2年		金賞
2年		金賞	3年		金賞	3年		金賞
3年		金賞	3年		金賞	4年		金賞
4年		特選	4年		金賞	4年		特選
4年		金賞	4年		特選	5年		特選
5年		金賞	5年		金賞	5年		特選
6年		推薦	6年		金賞	6年		特選
6年		金賞						

## 新年の誓い



1月17日(水)～19日(金)に、各学級の代表児童が「新年のちかい」を校内放送で発表しました。自分自身をふり振り返り「今年もがんばるぞ！」という強い思いを込め、それぞれのちかいを発表することができました。子供たちがたてた目標を達成することができるよう、一人一人の子供たちを教職員も全力でサポートしていきます。

## あいさつ運動に取り組みます

今学期本校では、気持ちの良いあいさつができるよう「あいさつ運動」に全校をあげて取り組んでまいります。わかたけ委員会を中心に取組を考え、低・中・高学年それぞれが目標を決めました。自己評価を行い、あいさつができた児童の数をカウントボードで掲示したり、「あいさつ賞」を渡したりして意欲を高めていきます。皆さまには、お子様に学校での取組の様子を聞いていただき、あいさつの意義を話していただけたらと思います。また、地域の皆さまには、これまで同様登下校時のあいさつの見届けをお願いいたします。

学年	レベル	目標
低学年	レベル1	あいさつをされたらあいさつを返すことができる。
	レベル2	自分から相手にあいさつをすることができる。
中学年	レベル3	相手の目を見て自分からあいさつをすることができる。
	レベル4	明るく気持ちの良いあいさつを自分からすることができる。
高学年	レベル5	その場に合ったあいさつを自分からすることができる。
	レベル6	いつでも誰にでも自分からその場に合ったあいさつをすることができる。

## 臨時休業（学校閉鎖）へのご対応ありがとうございました

本校では、インフルエンザ等の感染拡大により1月23日(火)から26日(金)まで臨時休業（学校閉鎖）の措置を取りました。この期間、保護者・地域の皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。深く感謝申し上げます。今後も本校では、インフルエンザ等の予防に向け、感染症対策に努めてまいります。まだまだ、寒い日が続きます。皆様もどうぞご自愛ください。